

株式会社SENTAN Pharma

https://www.sentan.co.jp/

独自のナノ・マイクロ製剤化技術をプラットフォームとした
創薬・予防医学事業



会社の特徴、事業概要

SENTAN Pharmaは独自のナノ粒子化・マイクロ粒子化技術を医薬品・健康食品の製造過程に活用することで製品の有効性等を高める技術を提供するベンチャー企業。同社のナノ粒子化・マイクロ粒子化技術を用いると、薬や食品をより摂取に適した形態に加工（ナノ粒子化・マイクロ粒子化）することが可能になる。創薬分野においては、薬の有効物質を人体が吸収しやすい形状に加工することで投与回数や副作用の低減など患者様の負担が少ない薬の実現に繋がるほか、その技術は既存薬再開発（※2）にも応用可能。また、食品分野においては吸収率の上昇により成分の少量化やエビデンスに基づく商品開発が可能になる。

大阪大学との関係

SENTAN Pharmaは久留米大学医学部江頭客員教授の研究成果を基盤に独自開発したナノ粒子化技術、岡田DDS研究所から技術移転したマイクロ粒子化技術をコア技術として保有。これらを用いて大阪大学微生物病研究所の山崎教授との共同研究であるワクチンアジュバント開発製造を成長ドライブとし、今後の成長が期待されている。

SENTAN プラットフォーム

ナノ・マイクロ粒子製剤

新しい医薬品として世界に羽ばたく

SENTANプラットフォーム技術で化合物を仕立て直す

SENTAN プラットフォーム^{※2}

当社独自のナノ・マイクロ製剤化の基盤技術

このままでは医薬品にならない化合物^{※1}

化合物A

化合物B

C社

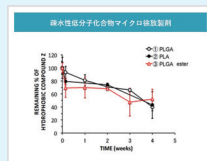
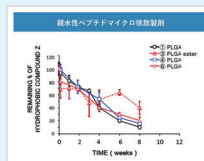
D社

E社

薬効も
上げたい対象疾患も
広げたい投与回数も
減らしたい副作用も
減らしたい届けにくい
ものを
届けやすく
したい

※1 化合物・・・医薬品の薬となる物質

※2 プラットフォーム・・・課題解決のための基幹となる技術

SENTAN Pharma 独自処方で製剤調製
～ in vivo放出性評価 ～ 最終製剤設計

スケールアップ・GMP製造は国内CMO企業と技術提携し
研究からGMP製造までの一気通貫体制で実施



本社所在地

福岡県福岡市博多区下川端町2番1号 博多座・西銀再開発ビル9階

代表取締役

松原 正東 永井 朋子

設立

2007年2月